

# 広島市植物公園 見どころ案内

2018年8月18日  
通巻第382号

7/21(土)~8/30(木) サマーフェア

**ラッカセイ (マメ科)**  
黄色のかわいらしい花が咲いています。地際付近では、子房柄が伸長している様子も観察できます。見ることはできませんが地中では莢が肥大してきています。

**展示会のご案内**  
◇展示温室 (7/21~8/19)  
世界の食虫植物展  
◇展示資料館 (7/28~9/5)  
ボタニカルアート作品展

**ブルーベリー (ツツジ科)**  
北アメリカ原産のスノキ属の落葉低木果樹の総称で、原種がいくつかあります。たわわに実をつけています。日本にもスノキやクロマメノキなど近縁種があります。

**ポポー (バンレイシ科)**  
大きな葉の間にふっくらした俵型の緑色の果実がぶら下がっています。北アメリカ原産の果樹で、とってもクリーミーな果実です。各地の産直で売られている姿を見かけます。

熱帯  
スイレン  
温室  
休館中

**サギソウ (ラン科)**  
日本原産の湿地の野草です。白い清楚な花はサギが羽根を広げたように見えます。当園のシンボルマークにもなっています。

**オジギソウ (マメ科)**  
南アメリカ原産で、夏にピンク色で小さいボール状の花を咲かせます。葉に触れると閉じる「動く植物」です。

**タベブイア (ノウゼンカズラ科)**  
桃花イペーともいいます。ピンクの花が満開です。木材は硬くて腐りにくく、大温室のウッドデッキに使われています。

**キバナコスモス (キク科)**  
花の迷路ではキバナコスモスが満開です。迷路の楽しさと花の美しさをご堪能ください。

**ゴレンシ (カタバミ科)**  
東南アジア原産で、果樹として栽培されています。現在、ピンクの花が咲いています。果実を輪切りにすると星形になるのでスターフルーツといえます。

**グロリオサ (イヌサフラン(旧ユリ科))**  
熱帯アフリカ原産の球根植物。葉の先端が巻きひげとなって支柱にからみついて伸びていきます。赤い目立つ花が咲いています。近年切花として人気のある植物です。球根に毒があるので食べてはいけません。

**夏花壇の植物**  
センニチコウ、ペンタス、コリウス、バーベナ、メランポジウム、トウガラシなどが見られます。大温室前はアンゲロニアの花壇です。

